教育関係共同利用拠点水圏ステーション特任助教公募

2024年3月7日

各国公私立大学（学部）長 殿
各関係機関の長　　殿

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
教育関係共同利用拠点水圏ステーション特任助教候補者選考委員会
委員長　仲岡　雅裕

教員の公募について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター（以下、「センター」という）では、下記のとおり教員を公募することになりました。つきましては、貴学・貴施設関係者に周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、ご依頼申し上げます。

よろしくお願い申し上げます。

記

１．職種：特任助教　１名

２．任期：2025年3月31日迄
※業績等により、2027年3月31日迄の期間において、単年度単位で契約の更新を行うことがある。

３．所属：（付記１参照）
（雇入れ直後）北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション
（変更の範囲）大学の定める場所

４．職務内容
（雇入れ直後）文部科学省教育関係共同利用拠点「寒流域における海洋生物・生態系統合教育の国際的共同利用拠点」（付記２参照）に係る教育研究に従事する。
（変更の範囲）大学の定める業務

５．勤務地： 室蘭臨海実験所　〒051-0013 北海道室蘭市舟見町1-133-31

６．応募資格・条件

（１）採用時において博士の学位を有する方

（２）海産藻類を用いた細胞生物学、発生生物学、生理生態学に関連する分野において、優秀な業績、教育・研究能力を有する方

（３）学内外の学生・大学院生等を対象とした臨海実習や外来利用学生の受け入れなど、教育関係共同利用拠点にかかる業務に関して、室蘭・厚岸両臨海実験所の設備機器・機材等を積極的に活用して、その企画・遂行に責任を持って取り組める方

（４）室蘭・厚岸両臨海実験所およびその他の水圏ステーションの地方施設やセンターの野外研究施設等の管理に意欲と責任感をもって参加しうる方

（５）地方施設での勤務、研究、社会教育を含む地域との諸関係などを全うできる方

（６）当教育関係共同利用拠点が行う情報の発信および管理ができる方

（７）日本語および英語で教育が行える方

７．採用予定日：2024年7月1日以降できるだけ早い時期

８．試用期間：あり（１ヶ月）

９．給与：国立大学法人北海道大学特任教員就業規則及び国立大学法人北海道大学年俸制の適用に関する内規等による

10. 勤務形態：同意に基づく専門業務型裁量労働制（※）または固定労働時間制を適用
（※１日に７時間４５分労働したものとみなす）

11. 健康保険等：文部科学省共済組合、厚生年金、労災保険、雇用保険加入

12. 募集者の名称：国立大学法人北海道大学

13. 受動喫煙防止措置の状況：特定屋外喫煙場所を除き、敷地内禁煙

14. 応募書類

（１）履歴書　１通（顔写真付き、6ヶ月以内に撮影されたもの）

※2013年4月1日以降、北海道大学に在職経験（非常勤講師、TA、TF、RA、短期支援員などすべての職種を含む）のある方は、当該職歴を漏れなく記載してください。

（２）研究業績目録　１部（付記３参照）

学術論文（査読有)、学位論文、著書、総説、その他（査読なし）に分けて記載してください。また、国際的・全国的シンポジウムのオーガナイザー、招待講演、各種受賞、競争的研究費や受託研究費の獲得状況なども記載してください。教育業績には、講義・実習の担当やその他の大学内外における教育活動の参考となる事項を記載してください。

（３）これまでの研究・教育、社会貢献の実績（2,000 字以内）1 部

上記主要論文等の実績を含めて具体的に記述してください。

（４）応募にあたっての抱負など（2,000 字以内）１部

採用後における研究・教育の展開に関する抱負、特に教育関係共同利用拠点の運営に関する抱負などを記述してください。

（５）応募者について照会できる２名の氏名と連絡先E-mail

（ただし、応募者は照会者に連絡を取る必要はありません）

（６）主要論文５編以内の別刷またはコピー

15. 応募期限： 2024年4月25日（木）必着

16. 応募書類の提出先

〒060-0811 札幌市北区北 11 条西 10 丁目

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター

係長（人事担当）宛

※「水圏ステーション特任助教公募」と朱書きし、書留で郵送してください。

※ 応募書類は原則として返却しません。

※ 電子メールの添付ファイルによる応募も可能です。その際は応募書類を PDF ファイルにまとめてください。送付する電子メールの件名は「水圏ステーション特任助教公募」としてください。

提出先のメールアドレスは　syomu AT jimu.hokudai.ac.jp です（AT を@に置き換えてください)。

※ 応募書類に含まれる個人情報は、選考目的以外には使用いたしません。

17. 選考方法

書類選考を中心としますが、必要に応じて面接を行うこともあります。ただし、面接に際して交通費は支給しませんので、あらかじめご了承ください。状況により、面接はインターネットを通じて実施する場合があります。

18. 問い合わせ先

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

水圏ステーション・厚岸臨海実験所・仲岡雅裕（nakaoka AT fsc.hokudai.ac.jp; ATを@に置き換えてください）

北海道大学では、多様な人材による教育・研究活動の推進に努めております。また、教育・研究活動と生活の両立支援、能力発揮・活躍環境整備も積極的に進めています。取り組みの詳細は、以下のウェッブサイトを参照してください。
https://diversity.synfoster.hokudai.ac.jp/statement/

付記

1）「センター」は、研究林・牧場・農場・植物園・臨海実験所などの施設を統合して設立された学内共同施設（研究施設）です。教員は、森林圏ステーション・耕地圏ステーション・水圏ステーション（本公募のステーション）のいずれかに所属し、各施設およびセンターの管理運営にあたるとともに森林圏研究領域・耕地圏研究領域・水圏研究領域・統合研究領域からなる教育研究部（領域）に所属して、教育・研究を行っています。「センター」の詳細については、ホームページ（http://www.fsc.hokudai.ac.jp）を参照してください。現在、水圏ステーションは、教授６名・准教授４名・助教５名で構成されています（特任教員含む）。

2）水圏ステーション室蘭臨海実験所と厚岸臨海実験所は、文部科学省教育関係共同利用拠点「寒流域における海洋生物・生態系統合教育の国際的共同利用拠点」に認定されています。詳細については、（https://www.fsc.hokudai.ac.jp/KANRYU/）をご参照ください。

3）業績目録の様式は下記よりダウンロードしてお使いください。
https://www.fsc.hokudai.ac.jp/recruit/

ただし、必要な情報がすべて入っていれば、他の書式でも構いません。